

<b>学校教育目標</b>	教育理念『自立貢献』				
	○自分で解決する力を大切にします。(知・公・開) ○心豊かに生きる力を大切にします。(徳・体)				
<b>学校概要</b>	創立 34 周年	学校長	坂村 暁	副校長	田上 智之
	2 学期制	一般学級: 15		個別支援学級: 3	
児童生徒数: 547 人	主な関係校: 荏田西小学校 東市ヶ尾小学校 市ヶ尾小学校				

<b>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</b>	<b>中ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組</b>
<言語能力> <持続可能な社会の創造に貢献する力> <グローバル化の中で生きる力>	市ヶ尾中学校 荏田西小学校 東市ヶ尾小学校	○多様性を認め合い、共に支え合うことができる子ども ○笑顔と挨拶があふれる子ども ----- ・ブロック教務主任会で、9年間で育てる子ども像に迫る行事を推進。 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施。

<b>中期取組目標</b>	○チーム『市ヶ尾中』として全職員と関係者・関係機関とともにSDGsを意識し、持続可能な学校づくりを目指します。 ・生徒の学習意欲を高め、生徒が主体的に考え、社会とのつながりを大切に授業の実践を目指します。 ・ユネスコスクールとして、ESDの視点を重視する教育活動を展開し、「つながり」を尊重できる個人を育みます。 ・すべての教育活動にキャリア教育の視点を持って臨み、活動を充実させます。 ・学習ルーム(特別支援教室)を中心に、特別支援教育を全教職員で推進します。 ・小中一貫ブロックや家庭・地域、行政・NPO等と連携し、地域社会と強くつながり積極的に貢献できる力を育みます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きて はたらく知</b> 担当 教務部・学習指導部	①ESDとキャリア教育の視点を重視し、実践的な態度につながる学びを推進するとともに、アクティブラーニングを意識した授業改善をさらに進める。 ②生徒による授業評価や市・国の学習状況調査結果を分析し、授業改善を行う。
<b>豊かな心</b> 担当 道徳人権係	①学級・学年集団や全校の中で様々な個性や特性を理解し合う心を育て、自分の役割を意識し集団の中で貢献する力を育む。 ②平和学習、道徳、福祉体験学習、人権特設授業等を通じて多様性や人権を尊重する心を育む。
<b>健やかな体</b> 担当 保健指導部・保健体育科	①保健指導部を中心に食育を行うとともに、望ましい生活習慣の維持について家庭の協力を得る。 ②体力・運動能力調査の結果を分析し、運動能力の向上や健康増進についての教育を行う。 ③一校一実践運動の昼休み運動を体育科や生徒会を中心に推進する。
<b>未来を開く志</b> 担当 特活指導部・ESD研究部	①ユネスコスクールとして、平和学習やESDの視点を大切に、持続可能な社会の実現とSDGs達成に向けてアートマイルプロジェクト・エコバッグプロジェクト等の取り組みを行う。 ②行政・NPO・異職種と連携・協働する取り組みである市ヶ尾ユースプロジェクトをさらに推進する
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援委員会	①特別な支援が必要な生徒については特別支援委員会が中心となり保護者と連携し、個別の教育支援計画と個別の指導計画に基づいた指導を行う。 ②学習ルーム(特別支援教室)を組織的に運営し、一人一人の状況に合わせた支援や指導を行う。
<b>生徒指導</b> 担当 生徒指導部	①生徒が学校にいる時間、教職員は可能な限り生徒に寄り添い生徒の変化に気づくとともに気軽に相談活動ができる雰囲気作りを進める。 ②インターネットやスマートフォンのマナーについて、定期的に指導をしていく。
<b>地域連携・学校運営協議会</b> 担当 教務部、生徒指導専任	①学校運営協議会で、学校経営方針や生徒の活動について周知するとともに、第三者からの視点を学校運営に活かしていく。 ②地域コーディネーターのマネジメントで各種ボランティア・学校行事等で地域の教育力を活用する。
<b>安全管理</b> 担当 保健安全・防災係	①災害発生時や学校事故等の緊急事態発生時に、危機管理マニュアルに基づく適切で迅速な対応ができるよう日頃からのリスクマネジメント意識を高めるとともに研修を行う。 ②工夫した避難訓練を複数回実施する。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①毎月の生活アンケート等からいじめの実態把握と未然防止に努め、「いじめ防止対策委員会」を月一回以上開催し、生徒がいいきいきと生活しやすい環境をつくる。 ②ESDの視点を大切に、様々な事象を多面的に捉え、主体的に考え、解決していく姿勢を育てる。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 総務部	①メンターチーム研修を月1回開催し、若手教職員の教育実践力を高めていく。 ②共有ファイルを積極的に活用するとともに、担当者同士のコミュニケーションをはかり、教育文化の継承と発展をはかる。③働き方改革の視点から効率的な業務の見直しを図り時間外勤務を減らすとともに、持続可能な部活動について検討し適切な活動時間について考える。